

くつろぎサロンはがん患者と家族のための会です

くつろぎサロン通信

2018年7月11日 第16号
発行：十和田市立中央病院内
がん患者と家族の会事務局



2018年5月9日に、H30年度くつろぎサロン総会が開催され、下記のように役員改選、活動内容が決まりました。例年以上に勉強会や親睦会、情報交換等々計画されお互いが学び合い、前向きに療養生活を送っていただくとおもっています。

<H30年度 くつろぎサロン活動予定>

サロン定例会 第2水曜日13:00-15:00		ひまわり部会 第3木曜日13:00~15:00*	
内容	その他	内容	
4月 役員会を要して・・・(会へのお祝い考え等)	/22ピンクの日参加	おしゃべり&ヨガ(服装着用)	
5月 第10総会		*ケアの様子作り診適宜	
6月 医学講演会(薬剤師：ホルモン療法)			
7月 近況報告等	サロン通信発行 患者団体等連絡会議		
8月 休み		休み	
9月 近況報告等			
10月 病院まつり参加(予定)	県フォーラム?		
11月 近況報告等			
12月 /5 院長講演(ハビタの)/12 クリスマス会			
1月 休み		冬季のヨガは休止	
2月 近況報告等			
3月 H30年度の締め	患者団体等連絡会議		

今年度の役員について

5月の総会において
会長の中野渡昭子さんを
はじめ、副会長・会計・
監査・事務局 計10名が
決まりました

くつろぎサロン活動紹介 (H29年度)

7月 ファイトケミカル講座



9月 焼山 野の花で温泉とランチ



10月 病院まつりでステージ参加



12月 クリスマス会は十和田ハーモニーズさんと



1月 詩吟鑑賞



2月 華演奏



～会長挨拶～

会長 中野渡 昭子

「くつろぎサロン」の発足から10年経ちました。この節目の年にいろいろ見えてきたことがあります。長い話し合いの末に、お一人ひとりが入会された時と「会のあり方が変わってきている」と「会の存在意義は大きい」ということが確認されました。病気の性質から、私たちは、長い目で、また、広い視野に立って、将来を考えることは難しいかもしれません。置かれている環境も病状もそれぞれ違っています。でも原点にもどって、みんなで望ましい会のあり方を探し、「この会があってよかった」と思えるようにしていきます。どんな辛い中でも喜びと感謝は見つけられると信じて生きてきました。今年度も多くの方にお世話になります。よろしくお願ひいたします。

今年もピンクリボン運動に参加しました!

～「どわだをピンクに染める会」とともに官庁街で活動しました～

4/22(日)はポカポカ陽気で桜も満開に美しく咲いた日でした。今年で2年目の「十和田をピンクに染める会」にふさわしい開催日となり、多くの市民・観光客であふれていました。私たちが用意した乳がんや十和田市のがん情報などのパンフレットやセルフチェック法が表示されたポケットティッシュも十分に手渡すことが出来ました。(海外からの方も多く、語学力を駆使しながらの国際色溢れる場面もありました。)特に今年は、保健センターの計らいで大型のマンモグラフィー検診車も配備され、より皆様へPRで来たのではと思われました。また、当会のオリジナルケア帽子を自宅療養されている方へ提供出来たり、帽子ブローチ(写真:参)を募金協力してくれた方に差し上げることも出来ました。くつろぎサロンとして街中で活動することにまだまだ不慣れでありましたが、初めてお会いする方と言葉を交わしながらこの活動意義を伝えることで、参加者個々に手ごたえや重要性を確認できた一日でありました。



ピンクリボン運動とは・・・
乳がんについての正しい知識を多くの人に知って頂き
乳がんから引き起こされる悲しみから一人でも多くの人を守ろうと、
1980年代のアメリカで発祥した啓発運動です。

6月 医学講演会

講師：十和田市立中央病院
薬剤師 明石 真弓さん

13日の定例会では当院の薬剤師・明石真弓さんから「ホルモン療法について」の適応、男性・女性ホルモンの分泌・合成やその作用と作用機序、内分泌療法の副作用についてのお話を伺いました。後半は、会員個々の自覚している症状や「副作用からか？」と辛く感じている状態などたくさんの質問が繰り出され、活発な情報交換を行いました。やはり関心度が高いことから、服用期間の長さや年齢を重ねることと気がかりな症状の関連などに鋭く質問することも出来ました。病名が同じでも病態が異なり、ホルモン剤の受容体・タイプ別に何が処方されるか等、理解することが難しく、困惑することも多かったですが、とても有意義な勉強会となりました。

編集後記

顔つきの悪い癌と診断され術後12年経過、仲間に支えられ今日を迎えられた。退院当初は抗がん剤による食欲不振、この命いつまで続くのか、不安の日々がずっと続いた。その後開き直り自分と同じ悩みを持っている人がきっと他にもいるはず、自分の体験がほかの患者さんを支援する力になるかもしれない、患者同士の支えの場それが「くつろぎサロン」の結成でした。しかし今や会員の高齢化・マンネリ化?役員のなり手不足、会の存続危うし!!

文責 事務局 坂下 優

【お問い合わせ先】

十和田市立中央病院(地域医療連携室内)
がん相談支援センター
平野 田中
TEL 0176-23-5121 内線2066